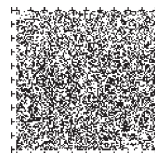


〔野鳥シリーズ71〕

リハセンターに飛来する野鳥を友に

元理療教育部長 見原 捷三



マナズル (真那鶴)

2009年1月号に長寿でお目出度い鳥のタンチョウズルを掲載しましたので、今回も同じツルの仲間のマナズルを掲載します。

マナズルは、全長が約120cmで雌雄同色をしています。体は暗青灰色をしており、胸及び腹は灰色がより濃くて、目の周りが赤い大形のツル類です。

繁殖地は、シベリア東部のアムール川流域ですが、越冬地は中国の長江下流地域、朝鮮半島それに、日本では鹿児島県の出水市周辺です。

我が国は、出水市周辺を1952年に「ツル及びその飛来地」として、天然記念物に指定しました。現在このマナズルは、出水市周辺でしか観察出来ませんが、かつては日本全国に飛来していました。

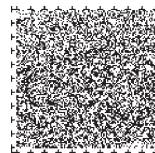
第二次世界大戦後には、数10羽までに減少しましたが、現在は数千羽までに回復しています。

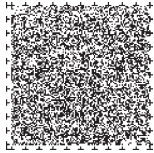
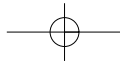
越冬地では、番と幼鳥からなる家族群を単位とした群れで生活し、水田や湿地に生息しています。

この写真は出水市で撮ったものですが、このように、番は越冬地でも求愛のディスプレイをして、夫婦の絆を高める行動が良く見られます。

鳴き声は、夜明けとともに一斉に鳴き立て「コロロ、コロロー」と鳴き、ディスプレイの時には、「ファオー、ファオー、キュルルルー」と大声で鳴き交わします。

ちなみに、マナズルは神奈川県真鶴岬の「真鶴」とも呼びます。





平成21年度 リハビリテーション実施状況（12月報告）

1 利用者状況

(1) 昼間実施のサービス状況：月末人員

課 程		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自立訓練（機能）	H.21	15	17	19	25	27	26	25	24	26				22.7
	H.20	11	13	13	15	11	12	12	13	14				12.7
自立訓練（生活）	H.21	10	9	9	7	6	10	9	10	8				8.7
	H.20	10	10	11	11	8	10	11	10	8				9.9
就労移行支援	H.21	56	55	53	69	63	74	66	52	66				61.6
	H.20	50	54	49	61	57	62	75	59	61				58.7
就労移行支援(養成施設)	H.21	78	77	76	75	75	75	75	75	75				75.7
	H.20	85	84	84	83	82	81	81	81	80				82.3
合 計	H.21	159	158	157	176	171	185	175	161	175				168.6
	H.20	156	161	157	170	158	165	179	163	163				163.6

(2) 施設入所支援サービス状況：月末人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所支援	H.21	191	186	182	192	187	198	191	181	192				188.9
	H.20	189	196	194	206	194	200	210	202	200				199.0

(3) 独自事業等：月末人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
職業リハビリセンター	H.21	69	64	64	59	62	57	63	65	63				62.9
自動車訓練	H.21	14(9)	12(8)	15(12)	17(12)	12(6)	14(8)	12(6)	15(7)	14(8)				13.9(8)
再理療教育クラス	H.21	0	1	1	1	1	1	1	1	1				0.9
臨床研修コース	H.21	5	5	5	5	5	5	5	5	5				5.0

※1 職業リハビリセンターについては施設入所支援を利用している者の内数である。

※2 () は他の事業に属さない者の数である。

(4) 利用者数：月末人員

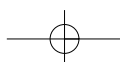
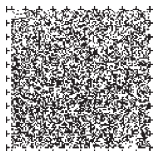
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
支援サービス	H.21	228	222	221	235	233	242	238	226	238				231.4
独自事業	H.21	14	13	17	17	12	13	11	13	14				13.8
利用者数総計	H.21	242	235	238	252	245	255	249	239	252				245.2

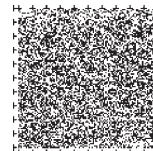
※1 支援サービスについては昼間実施サービス及び職業リハビリセンターの利用者合計数である。

※2 独自事業については自動車訓練のみの利用者、再理療教育クラス及び臨床研修コースの利用者の合計数である。

2 入院患者の状況（1日平均）

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.21	121.0	107.4	102.5	102.2	107.7	105.3	95.6	88.3	81.6			100.7
	H.20	128.4	135.7	144.0	130.3	123.6	128.6	124.0	116.8	116.0			127.1
一 般	H.21	119.4	104.8	100.5	102.1	107.0	105.3	94.7	88.3	81.6			99.8
	H.20	128.0	135.6	142.7	130.3	123.6	127.5	122.5	115.7	114.8			126.3
利 用 者	H.21	1.6	2.6	2.0	0.0	0.7	0.1	0.8	0.0	0.0			0.9
	H.20	0.3	0.0	1.2	0.0	0.0	1.1	1.4	1.1	1.1			0.8





3 外来患者の状況（1日平均）

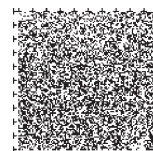
区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.21	154.9	162.1	151.0	152.6	147.9	151.5	146.6	145.2	151.5			151.0
	H.20	161.7	168.2	163.3	165.2	153.9	169.7	150.6	164.1	165.8			161.3
一 般	H.21	143.0	147.6	138.8	139.7	136.1	137.5	134.0	132.4	139.0			138.2
	H.20	149.6	154.1	150.0	151.4	141.1	155.2	138.1	151.3	150.7			148.0
利 用 者	H.21	11.8	14.3	12.2	12.9	11.7	14.0	12.6	12.7	12.5			12.7
	H.20	12.0	14.1	13.3	13.7	12.8	14.4	12.4	12.8	15.1			13.3

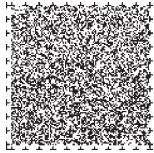
4 見学者の状況（実人員）

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
医 療	国 内	113	212	341	182	396	440	59	63	46			191.1
	海 外	0	25	15	11	6	14	5	5	52			13.8
教 育	国 内	3	9	19	48	31	3	76	30	1			29.6
	海 外	0	0	9	0	0	0	0	11	1			2.1
福 祉	国 内	139	182	99	99	12	76	198	244	49			129.6
	海 外	1	0	29	10	2	6	0	3	13			6.4
職 業	国 内	22	0	0	0	3	29	0	0	0			5.4
	海 外	0	0	0	0	2	0	0	0	0			0.2
そ の 他	国 内	54	19	72	35	15	57	16	74	38			39.6
	海 外	0	1	15	2	9	6	1	6	8			4.9
うち障害者 (再 掲)	国 内	4	5	13	20	1	2	1	1	0			4.8
	海 外	1	0	3	0	0	3	0	0	7			1.4
平成21年度計	国 内	331	422	531	364	457	605	349	411	134			395.3
	海 外	1	26	68	23	19	26	6	25	74			27.4
	計	332	448	599	387	476	631	355	436	208			422.7
平成20年度合計		324	418	644	557	498	516	675	245	155			448.0

5 学院生の在籍状況（月末現在）

学 科	学 年	人 数
言 語 聴 覚 学 科	1 年	30
	2 年	31
	小 計	61
義 肢 装 具 学 科	1 年	9
	2 年	9
	3 年	8
	小 計	26
視 覚 障 害 学 科	1 年	4
	2 年	4
	小 計	8
手 話 通 訳 学 科	1 年	13
	2 年	12
	小 計	25
リハビリテーション体育学科	1 年	3
	2 年	3
	小 計	6
合 計		126





センターのロゴ

センターのロゴは、国際障害者年を記念し、入所者・職員から募集した作品の中から選定されたものです。

このロゴは、

- 1 リハビリテーションセンターを包む、リハビリに対する強い意欲・意思・たゆまざる努力、そして友情と信頼、
 - 2 リハビリテーションセンターを出発点として、未来にまた広く社会各方面に向かって伸びようとする入所者・職員の姿、
 - 3 手話の指、点字を読む指、職業、職能、理療に励む力強い5本の手指
- をイメージ化したものです。

また、NRCDはNATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIESの頭文字です。

制作者 住田律夫（昭和56年制定）



上のシンボルマークは、WHO(世界保健機関)のマークです。

WHO (World Health Organization) とは、国連の仕事のうち、保健衛生の分野を受け持つ専門機関であり、その目的は、全人類の健康を守るために、世界の国々が力を合わせて努力しようとするものです。

国立障害者リハビリテーションセンターは、WHO指定研究協力センターの指定を受け、国際協力を行っています。

「国リハニュース」編集事務局

国立障害者リハビリテーションセンター管理部企画課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 FAX 04-2995-3102

ホームページアドレス <http://www.rehab.go.jp/>

(国リハニュースはホームページに掲載されています)

※本誌へのご意見、ご要望等がございましたら、上記編集事務局宛

FAX又は、Eメール (kikakuka@rehab.go.jp) をお寄せ下さい。

